

平成 27 年度 施策評価シート

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	1. 「二宮の顔づくり」＝駅北口整備
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暫定整備を行ったJR二宮駅北口駅前広場を、町民や通勤通学者、来町者にとっての玄関口に相応しい駅前広場となるよう本格整備に向けて検証し、検討を行っていきます。</li> <li>・二宮駅周辺地区について、商店街利用者、通勤通学者、来町者の誰もが安心して安全に利用できるように、周辺の商店や地権者の協力を得てバリアフリー化を検討します。</li> </ul>

基本計画(分野別方針)事業名		実施計画 事業数	総合評価
(1) 中心市街地等の整備誘導		1	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場の送迎車両の対応や、交通環境の改善を図る必要がある。</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある		A
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北口駅前広場は暫定整備の実施により駅利用者の利便性が向上している。</li> </ul>	
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の本格整備に向けて、駅前町民会館の土地利用も視野に入れて、駅利用者自動車駐車場の整備や緑化による景観形成などを検討する。</li> </ul>	

◎最終評価者[庁内評価委員会]			
意見等	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある		A
	北口駅前広場の本格整備ならびに周辺道路環境の対策について、今後検討を行っていく必要がある。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	都市整備課
基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	1. 「二宮の顔づくり」＝駅北口整備
分野別方針	(1) 中心市街地等の整備誘導
実施計画事業	1) 駅周辺整備計画事業 (No.65)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	駅周辺整備計画事業	92.1%	A
02	南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業	99.7%	A
03	自転車等対策事業	99.5%	A
04			
05			

課題 (箇条書き)	01北口駅前広場暫定整備を実施し、その後の利用実態を検証した結果、一定の成果は確認できたが、駅周辺の交通ネットワークを考えた場合に、渋滞や混雑解消をはじめ安全性などの課題があり、本格整備が必要であることが解った。
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	01 駅前広場(駅周辺)については、用地交渉においてJR東日本との協議が必要となるため、当面は現状維持とする。 02 駅周辺の良好な環境を保つために必要な事業である。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	将来の本格整備に向けた検討及びJR東日本との協議を継続実施しつつ、現状の駅前広場の適切な維持管理に努めていく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	将来の北口駅前広場整備の基本方針は定まったが、事業化に関しては整備用地を含め検討課題が残されているため、費用の確保や土地権利者との調整に努めていく。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	1. 「二宮の顔づくり」＝駅北口整備
分野別方針	(1) 中心市街地等の整備・誘導		実施計画事業	1) 駅周辺整備計画事業 (No.65)
予算等事業名	駅周辺整備計画事業			
目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保のための計画策定をする。			
内容	二宮駅北口駅前広場の暫定整備工事に伴い、駅周辺の交通環境が変化することから、駅を中心とした周辺の現況を検証し、今後の整備方針の計画を策定する。			
根拠法令・条例等				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		暫定整備後の検証委託や北口駅前広場工事は26年度中に終了するものの、駅周辺の暫定的整備は今後も必要であり、本格整備を見据え、計画的に整備を進める必要がある。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		JRから用地を買収して早期に本格整備に着手することで、暫定整備の負担を軽減させる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 26年度の北口駅前広場暫定整備に伴う検証委託及び北口駅前広場改良工事については、順調に進んでおり、二宮の顔となる駅周辺については、将来の本格整備を含め引き続き検討を進めていく必要がある。			

## 総合評価

実績	24年度に北口駅前広場暫定整備が完了したことに伴い、駅を中心とする周辺の検証として25年度・26年度の2ヶ年継続事業を終え、①駅前用地測量、②駅周辺交通量調査、③駅前将来計画の策定を実施した。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)	—			
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—
	—	—		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,500	1,932	10,050	9,258		
財源内訳	一般財源	4,500	1,932	10,050	9,258		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 将来の本格整備に向けた計画策定、暫定整備工事後の交通量調査及び24年度暫定整備工事で未整備となる箇所の工事は必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	C
	【説明】 町が主導して実施するが、測量業務、交通量調査業務及び工事は専門的であることから委託することが必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 仕様書に定めた業務を全うしている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 入札により委託契約している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 二宮駅前には町の顔となることから、現状をより良い環境とするための工事や調査を実施でき、また、将来的に駅周辺をより良い環境とするため、引き続き事業を実施する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	駅周辺をより良い環境とするべく事業を推進していくとともに、将来の本格整備に向けて、JRとの用地交渉を進めていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	将来の本格整備に向けた準備作業を推進する。		
今後の方向性	暫定整備の検証、整備計画案に対する関係機関に対する調整等を行い、駅北口周辺の交通規制等も考慮した町の玄関となる北口駅前広場づくりを実施していく。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	1.「二宮の顔づくり」＝駅北口整備
分野別方針	(1) 中心市街地等の整備・誘導	実施計画事業	1) 駅周辺整備計画事業 (No.65)
予算等事業名	南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業		
目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保のための計画策定をする。		
内容	南北駅前広場及び南北公衆トイレ及び駅南北エスカレーターの維持管理を行う。		
根拠法令・条例等	二宮町南口駅前広場駐車場条例		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	管理する施設の範囲や構造が限定されており、これ以上の経費の削減は困難。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	管理する施設の範囲や構造が限定されており、これ以上の効率化は困難。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 各委託事業により駅前広場の良好な状態が保たれている。	

## 総合評価

実績	通年委託等の執行。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	0		
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			保全・管理等については、目標数値の設定は困難である。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		16,620	16,455	16,719	16,670		
財源内訳	一般財源	12,492	11,912	12,399	12,125		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	4,128	4,543	4,320	4,545		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 駅周辺の公共施設は町が管理すべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 駅周辺の公共施設は町が管理すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 通年委託等により、施設が良好な状態に保たれている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 委託等は適切な価格で発注している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き駅周辺施設の適切な維持管理に努めていく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	南口駅前駐車場の指定管理者制度移行に対する検討。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	駅周辺の公衆便所、エスカレーター、エレベーター等は、今後も必要な施設として適正な維持管理を行う必要性が高い。なお、南口駅前駐車場については、管理方法について再検討が必要な時期であり、指定管理者制度の導入も視野に入れ検討を進める。		
今後の方向性	南口駅前駐車場の維持管理方法の検討推進。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	防災安全課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	1. 「二宮の顔づくり」＝駅北口整備
分野別方針	(1) 中心市街地等の整備誘導		実施計画事業	1) 駅周辺整備計画事業 (No.65)
予算等事業名	自転車等対策事業			
目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保のための計画策定をする。			
内容	自転車駐車場の整備をはじめ施設の運営管理を充実するとともに放置自転車及び原付バイクの解消に努める。			
根拠法令・条例等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 二宮町自転車駐車場条例、二宮町自転車等の放置防止に関する条例			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		維持管理に掛かる経費が主であるため、削減は困難である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		現時点において、各自転車駐車場は、ほぼ満車状態であるため、これ以上の効率化は困難である。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 放置自転車は減少しているが、アシスト付自転車の増加に伴い、来年度以降、当該車両の駐輪スペースの確保に努める必要がある。			

## 総合評価

実績	・自転車駐輪台数:109,154台(北口:47,939台、南口:36,870台、臨時:5,317台)、バイク駐輪台数:190,28台			
中間評価との相違点	—			
事業指標(数値指標)	駐輪場利用台数			
前期(27年度)目標値	92,000台			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	過去の駐輪台数から、放置自転車が無く安全な状態で管理できると考える92,000台の利用延べ台数
	106,968台	109,154		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		27,346	27,103	41,023	40,837		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	27,346	27,103	41,023	40,837		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 駅前環境の整備及び放置自転車対策として、町が主体的に実施していく必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 駅前環境の整備及び放置自転車対策として、町が主体的に実施していく必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 各自転車駐車場とも均衡が取れ、良好な駐輪環境が保たれている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 使用料収入のみで施設運営ができています。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 駅南北駐輪場の利用台数も増加し、各々の均衡が保たれるようになった。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	老朽化した駅北口自転車駐車場の改修を計画的に進めて行く必要がある。 自転車利用者が増加し続けた場合の駐輪台数確保について、検討していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	二宮駅周辺の安全安心のための自転車対策を関係機関と連携し、行政が実施しなければならないため。		
今後の方向性	自転車利用者の状況を把握しながら適切な自転車対策を民間施設の状況を確認しながら推進していく。		